

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	消防団は地域に必要です！～消防団員募集中～
事業主体 (連絡先)	朝日村 0263-99-2001
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	407,160円 (うち支援金: 305,000円)

事業内容

県内の消防団員数は約3万5千人で、10年前に比べて約1割減少しています。社会情勢の変化、人口減少により減少傾向にあり、朝日村消防団でも220人の定数を50人削減し170人としていますが、団員確保に苦勞している状態です。そこで、消防団の活動を紹介しイメージをアップする取組みを行います。

- ・プロモーション動画の作成
消防団活動の紹介、団員インタビュー
- ・ポスター、冊子による情報発信
事業実施にあたっては、消防団員、住民、村を通じて県の消防担当機関と連携を図っていく



【朝日村防災訓練】

【目標・ねらい】

- ① 新入団員の確保
- ② 消防団の魅力発信
- ③ 現役消防団員の意識向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

村で取材して放送しているニュースの中から消防団活動の素材を集め、消防団活動を映像で紹介。現役消防団員が参加して、座談会形式でインタビューを行い、話しやすい環境で和気あいあいとした中で、団員の本音が聞き出せました。

- ・新入団員の確保
19人の入団 (うち新入団員13人) が確定
- ・現役消防団員がポスターやリーフレットのモデルとなり、意識の向上が図られました。
- ・市民タイムスで取りあげられの反響がありました。

今後の取組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

自分達の活動をみつめ直すことで、消防団の意義や今後の活動についても考え、周りから注目されていることを意識して、団員個人の行動で消防団活動を発信していきます。

新年度には小学校の職業体験の授業の取組みや、中学校の防災訓練でもアピールをし、未来の消防団員の確保に努めていきます。

※自己評価 【A】

【理由】これまであまり表に出ることがない団員の思いを伝えることができた。自分たちが郷土を守るという意識が高くなった。周りの消防団にも刺激を与えました。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある